

## 「2019 岩国行動」にご結集の皆様へ

「若狭の原発を考える会」・木原壯林

岩国行動にご結集の皆様には、原発全廃を求める運動への多大なご支援、ご貢献をいただき、感謝申し上げます。

私は、原発の稼働も、基地の拡大・強化も、日本、アジア、世界の人々の犠牲のうえに、大資本にのみ奉仕する国を造り、戦争出来る国を造るための政策であること、断末魔の資本主義の悪あがきであることを述べ、老朽原発再稼働阻止の闘いへの結集を訴えて、連帯の挨拶に変えたいと思います。

さて、関電が支払った原発関連工事費などが、多額の金品として関電幹部に還流されていたことが明らかになり、多くの人々の怒りを買っています。この事件から、腐敗し墮落が進み、企業倫理が地に落ちつつある日本資本主義の姿が垣間見えてきます。腐敗構造は、電力に限ったことではなく大きなお金が関わるころには蔓延しています。

この関電幹部に還流された資金は、もとを質(ただ)せば電気料金として、電力消費者から関電に支払われたものです。電力供給は公益性が高く、電気料金は税金に準じる性格を持つことを考えあわせるとき、水増しして支払った工事費を還流させることなど、許されることではありません。

なお、関電は原発を再稼働させるために安全対策費を1兆200億円以上使い、老朽高浜1、2号機、美浜3号機の安全対策費に5000億円以上を費やそうとしています。これらの資金が総括原価方式の中で、電気料金として徴収され、ゼネコンなどに垂れ流されているのですから、今後さらに大きな疑惑が浮上するでしょう。

ところで、今回の金品受領に、関電役員が多くが関わっていた事実は、不正が構造的なものであり、関電が事の善悪を判断し、コンプライアンスを徹底する機能と資質を持ち合わせていないことを示しています。とくに、渦中の役員ほとんどが、原発推進に奔走した幹部であったことは、原発が立地住民の安心・安全や電力消費者の利益をないがしろにする経営の中で推進されたことを裏付けています。

この資金の流れに中心的に介在した人物が町の政策に大きな影響力を持つ元助役であったことから、原発の導入や再稼働への町の同意など、原発推進の町運営が疑惑に溢れた原発マネーの影響を受けたことも容易に想像できます。

原発が重大事故を起せば、被害はきわめて広域かつ長期におよび何百万、何千万の人々に塗炭の苦しみを与えかねません。原発を運転すれば、何万年もの保管を要する使用済み核燃料が蓄積します。その原発が老朽化すれば、事故の確率がさらに増大することは、多くが指摘するところです。

では、なぜ電力会社と政府は、老朽原発の再稼働まで強行しようとしているのでしょうか？

それは、経産省の「エネルギー基本計画」を見れば明らかです。この計画では、原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、2030年度時点の発電電力量に占める原発の比率を20~22%にしようとしています。この目標の達成のためには、30基以上の原発が必要となり、運転開始後40年を超える老朽原発の稼働も必要になります。

この「エネルギー基本計画」では、石油や天然ガスのような輸入しなければならないエネルギー源の割合を大幅に削減し、国内で調達できるエネルギー源、すなわち、原発、石炭火力、再生可能エネルギーを「主力電源化」しようとしています。とくに、CO<sub>2</sub>排出量の多い石炭火力を26%にしようとしていることから、原発の運転が、CO<sub>2</sub>対策でないことは明らかです。

この「基本計画」の目的の一つは、戦争になって天然ガスや石油の輸入が途絶えたときの電力を、自前で調達できる体制をつくることです。

もう一つは、今回の資金還流で一端が暴露されたように、国民から集めた何兆円もの原発マネーを、原発をトンネル機関として、ゼネコンや原発関連大企業へ垂れ流すことです。

すなわち、原発は、戦争できる国づくり、大企業に奉仕する国づくりのために維持・推進されているのです。

私利私欲にまみれた役員が中枢を占める関電に、万が一にも重大事故を起してはならない原発を運転する能力と資格が無いことは明らかです。45年超えにもなろうとする老朽原発の運転などもってのほかです。老朽原発の即時廃炉を勝ち取り、それを突破口に、全ての原発の即時停止と廃炉を求めましょう。

私たち、「原発うごかすな！実行委員会@関西・福井」は、10月1日から11月22日を「老朽原発うごかすな！キャンペーン」期間とし、関西、福井、名古屋で老朽原発廃炉を求める集会・デモをすでに7回行い、今後も2回行う予定です。一方、福井では、あわら市から若狭町に至るリレーデモを完遂し、兵庫では、播磨から関電本店に至る94kmを徒歩でつなぐリレーデモを出発させています。

さらに、キャンペーン期間開けの11月23日からは、高浜原発から大阪関電本店までの200kmを徒歩でつなぎ、「老朽原発うごかすな！」を訴える16日間のリレーデモを計画しています。途中の11月30日、高島市で、嘉田由紀子参議院議員の講演会、最終日の12月8日には関電本店包囲の大集会を予定しています。

これらの企画には、これまでにないほど多くの労働団体、市民団体、政党あるいは個人が参加を表明されています。皆様のご賛同、ご結集をお願いいたします。

基地拡大も、原発推進も、グローバリズムの名のもとに、世界、とくにアジアの民衆の命と尊厳をないがしろにすることによって実行されようとしています。私たちは、インターナショナリズムの旗を高く掲げ、これを打ち破らなければなりません。

勝利の日まで、ともにたたかきましょう！ 有難うございました。